

新規事業採択時評価結果（平成31年度新規事業化箇所）

担当課：道路局 国道・技術課
担当課長名：東川 直正

事業の概要

事業名	一般国道253号（上越魚沼地域振興快速道路） 十日町道路	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 北陸地方整備局
起終点	自：新潟県十日町市北鑑坂 至：新潟県十日町市八箇	延長	10.8 km		

事業概要
一般国道253号十日町道路は、新潟県十日町市における延長10.8kmの自動車専用道路整備事業であり、上越魚沼地域振興快速道路の一部区間である。
（上越魚沼地域振興快速道路は、新潟県十日町市から同県南魚沼市に至る延長約60kmの地域高規格道路であり、これまでに約14kmが供用している。）

事業の目的、必要性
当該区間の整備により、災害等の交通障害リスクを回避し、信頼性の高い交通ネットワークを形成するとともに、三次医療施設や観光施設へのアクセス性が向上することで、医療サービスの向上、観光振興を支援する。

全体事業費	約620億円	計画交通量	約10,600台/日
-------	--------	-------	------------



関係する地方公共団体等の意見
【新潟県知事】
上越魚沼地域振興快速道路は、新潟県上越地域と魚沼地域を結び、北陸自動車道と関越自動車道を連結して、広域的な高速交通ネットワークを形成する極めて重要な地域高規格道路であり、物流・人流の確保、産業や観光の振興、救命救急活動の支援、さらには雪や災害に強い道路交通網の形成の観点からも地域にとって不可欠な幹線道路です。
事業中である一般国道253号八箇峠道路に引き続き、当該区間においても、地域高規格道路として、直轄による権限代行事業の実施をお願いします。

学識経験者等の第三者委員会の意見
・新規事業化については妥当である。

事業採択の前提条件
■費用対便益：便益が費用を上回っている。
■手続きの完了：新潟県によるルート帯決定（H30.1）

事業評価結果

費用対便益	B/C	1.1 (0.6)	総費用：916億円 （事業費：889億円 維持管理費：27億円）	総便益：985億円 （走行時間短縮便益：833億円 走行経費減少便益：118億円 交通事故減少便益：33億円）	基準年 平成30年	
	感度分析の結果	交通量変動	B/C=1.0（交通量 -10%）	B/C=1.2（交通量 +10%）		
		事業費変動	B/C=1.0（事業費 +10%）	B/C=1.2（事業費 -10%）		
	事業期間変動	B/C=1.0（事業期間 +20%）	B/C=1.1（事業期間 -20%）			
事業の影響	評価項目	評価	根拠			
	自動車や歩行者への影響	渋滞対策	—	注目すべき影響はない		
		事故対策	—	注目すべき影響はない		
		歩行空間	—	注目すべき影響はない		
	社会全体への影響	住民生活	◎	三次医療施設「魚沼基幹病院」への到達時間の短縮と走行環境改善により、医療サービスの向上を支援 ・魚沼基幹病院60分圏域人口 【現況】60.6万人 ⇒ 【整備後】61.2万人（約6千人増加） ・津南町役場から魚沼基幹病院までの所要時間 【現況】56分 ⇒ 【整備後】47分（約9分短縮）		
		地域経済	◎	関越自動車道六日町ICと十日町地区とのアクセス性、冬期の通行しやすさの向上により、観光振興を支援 ・六日町ICから「松之山温泉（日本三大薬湯の一つ）」までの所要時間 【現況】52分 ⇒ 【整備後】44分（約8分短縮）		
		災害	◎	対象区間の現道の事前通行規制区間や防災点検要対策箇所を回避し、道路ネットワークの信頼性が向上 ・事前通行規制区間（連続雨量80mm）：【現況】2区間 ・防災点検要対策箇所：【現況】12箇所		
環境		—	注目すべき影響はない			
	地域社会	◎	縦平面線形が厳しい箇所を回避するため、走行性や安全性を確保し、十日町地域と南魚沼地域の地域間連携を強化する ・小曲線区間（曲線半径100m未満）：【現況】7箇所 ・急勾配区間（縦断勾配5%超）：【現況】6箇所			
事業実施環境	○	・新潟県によるルート帯決定（H30.1） ・新潟県知事、十日町市長より、「十日町道路の早期事業化」を要望				

採択の理由

費用便益比が一体評価で1.1と便益が費用を上回っているとともに、新潟県によるルート帯決定手続きが完了し、事業採択の前提条件が確認できる。
また、安全性・走行性の向上やネットワークの信頼性向上、救急医療の支援、観光振興の促進など、当該事業の整備の必要性・効果は高いと判断できる。
以上より、本事業の新規事業化は妥当である。

※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。

新規事業採択時評価結果（平成31年度新規事業化箇所）

事業評価結果（防災機能）

事業の必要性		
当該区間の整備により、災害等の交通障害リスクを回避し、信頼性の高い交通ネットワークを形成するとともに、三次医療施設や観光施設へのアクセス性が向上することで、医療サービスの向上、観光振興を支援するものである。		
評価項目	地域の課題	関連する計画
救助活動等	南魚沼地域と十日町地域を結ぶ主要幹線道路である国道253号は、丘陵部を通る道路であり、線形不良区間（曲線半径R=100m未満）が7箇所、急勾配区間（縦断5%以上）が6箇所存在する。 また、山間の道路であることから、土砂災害等による通行規制、冬期の交通障害が多発するなど、国道253号自体が被災し、交通ネットワークの脆弱性が課題となっている。	※魚沼圏域広域都市計画マスタープラン(H29.3) 冬期間の円滑な交通の確保、災害時の緊急車両の通行や代替機能確保にも配慮した広域的な道路ネットワークの整備を図る。 ※新潟県国土強靱化地域計画(H28.3) 大規模自然災害時には幹線道路が寸断されるリスクがあり、道路ネットワークとしての機能を失わないため、複数の道路ネットワークについて整備を進める。
住民生活	魚沼地域五市町*を圏域とする三次医療施設である「魚沼基幹病院」が平成27年6月に開院するも、十日町市南西部など、到着に60分以上かかる地区が存在し、救急搬送時の速達性に課題がある。 ※魚沼地域五市町：魚沼市、南魚沼市、湯沢町、十日町市、津南町	※魚沼圏域広域都市計画マスタープラン(H29.3) 第三次救急医療施設である魚沼基幹病院へのアクセス性の向上を図る。 高次都市機能の集積する他圏域等の多様な都市的サービスを楽しむため、上越魚沼地域振興快速道路の整備促進など、圏域を結ぶ交通ネットワークの充実を図る。
地域経済 地域社会	十日町市は、日本三大薬湯の一つである「松之山温泉」など観光資源が豊富な地域であり、主要産業である観光による地域活性化に力を入れている。 県外観光客の7割が関東方面からの来訪であるが、ネットワークが脆弱のため、六日町ICからのアクセスに課題がある。	※魚沼圏域広域都市計画マスタープラン(H29.3) 首都圏に近い立地条件と整備が進む地域高規格道路を含む広域交通ネットワークを活用しながら、各都市拠点や観光拠点など、相互の連携の強化を図り、他圏域や県外との多様な交流と定住の促進、地域経済の活性化を目指す。 ※北陸圏広域地方計画(H28.3) 国内外からの観光客の誘致に向けて、国内外に展開する広域交通ネットワークとこれらの交通結節点と観光地とを連絡する圏域内の地域交通ネットワークを構築することで、利便性の高い交通ネットワークを強化する。
その他		

事業の有効性									
<ul style="list-style-type: none"> 当該区間の整備により、主要拠点間のリンクの評価はBランクのままであるものの、脆弱度が0.20から0.04に改善するとともに、ネットワーク全体の防災機能が強化される。 また、災害時や冬期の交通障害時にも機能するネットワークが構築され、救急医療活動や観光振興、地域産業の活性化を支援するなど有効性の高い事業と評価する。 									
道路ネットワーク の 防災機能	主な区間		改善 ペア数	脆弱度 (防災機能ランク)		累積脆弱度 の変化量	改善度		評価
				整備前	整備後		通常時	災害時	
	十日町市	南魚沼市	13 (8)	0.20[B] 0.27[B]	0.04[B] 0.09[B]	▲33.53 (▲9.24)	0.08 (0.02)	0.23 (0.22)	○

事業の効率性
新潟県によるルート帯決定（H30.1）